

令和4年第4回にかほ市教育委員会 定例会

日 時 令和4年3月28日(月)

午後1時30分～

場 所 金浦公民館 軽運動室

議 事 日 程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 議案第15号 にかほ市地域学校協働活動推進員の委嘱について
- 第 3 議案第16号 にかほ市図書館協議会委員の任命について
- 第 4 議案第17号 白瀬南極探検隊記念館運営審議会委員の任命について
- 第 5 議案第18号 にかほ市教育委員会表彰について
- 第 6 議案第19号 令和4年度にかほ市学校教育の指針について
- 第 7 議案第20号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
- 第 8 議案第21号 にかほ市教育委員会職員の人事異動について
- 第 9 報告

令和4年3月28日招集

令和4年第4回
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和4年第4回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和4年3月28日 月曜日
2. 場 所 金浦公民館 軽運動室
3. 開 会 午後 1時26分
4. 閉 会 午後 2時13分

5. 出席委員 教育長 齋藤 光 正
委員 佐々木 郁 子
委員 佐藤 道 彦
委員 小松 雅 子
委員 伊藤 知

6. 説明のための出席者

教育次長 畠山 真姫子
教育総務課長 齋藤 邦
学校教育課長 菊地 新 吾
学校教育課副主幹 佐々木 妙子
生涯学習課長 山田 高
仁賀保公民館長 三浦 晶 子
象潟公民館長 佐々木 美 和
フェアイト子ども科学館長 佐々木 孝 人
白瀬南極探検隊記念館長 阿部 和 久
文化財保護課長 今野 和 彦

7. 書 記 教育総務課副主幹 佐々木 真紀子

8. 会議に付した議案

- 議案第15号 にかほ市地域学校協働活動推進員の委嘱について
議案第16号 にかほ市図書館協議会委員の任命について
議案第17号 白瀬南極探検隊記念館運営審議会委員の任命について
議案第18号 にかほ市教育委員会表彰について
議案第19号 令和4年度にかほ市学校教育の指針について
議案第20号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
議案第21号 にかほ市教育委員会職員の人事異動について
議案第22号 令和3年度教育費3月補正予算について

9. 可決した議案

- 議案第 15 号 にかほ市地域学校協働活動推進員の委嘱について
- 議案第 16 号 にかほ市図書館協議会委員の任命について
- 議案第 17 号 白瀬南極探検隊記念館運営審議会委員の任命について
- 議案第 18 号 にかほ市教育委員会表彰について
- 議案第 19 号 令和 4 年度にかほ市学校教育の指針について
- 議案第 20 号 令和 4 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
- 議案第 21 号 にかほ市教育委員会職員の人事異動について
- 議案第 22 号 令和 3 年度教育費 3 月補正予算について

10. その他の確認事項

- (1) 令和 4 年第 5 回教育委員会は令和 4 年 4 月 25 日（月）午後 1 時 30 分から金浦公民館で開催することにした。

11. 会議の要旨

【開会 午後 1 時 26 分】

【教育長】

若干早いですが、ただいまから第 4 回にかほ市教育委員会を開催いたします。本日の会議の出席委員は 5 名であります。では議事日程の第 1 会議録署名委員の指名を行います。委員は小松委員さんと佐藤委員さんをお願いしています。書記には事務局の佐々木副主幹を指名いたします。それでは日程の第 2 議案第 15 号 にかほ市地域学校協働活動推進員の委嘱について、ですが生涯学習課長お願いします。

(生涯学習課長 説明)

【教育長】

新任として阿部由紀子さんをあげておりますが、上の 5 名の方は非常にこれまでも活動推進として頑張ってくれました。阿部さんもフェライト子ども科学館に勤務しており、業務で学校連携もあることから、推進員として適任だという推薦であります。皆さんこれについて何かありますか。

(なしの声)

【教育長】

いいですか。それでは異議が無いものとして議案どおりに承認することにいたします。
議案第16号 にかほ市図書館協議会委員の任命について、同じく生涯学習課長お願いいたします。

(生涯学習課長 説明)

【教育長】

新任の3人方は絵本の読み聞かせを中心にやっておられる方で、図書館関係は非常に関わりがあるということで推薦されています。この委員に対しては皆さんどう思いますか。

(なしの声)

【教育長】

よろしいですか。それではこの委員に対しても異議が無いと認め、議案どおりに承認することにいたします。

それでは議案第17号 白瀬南極探検隊記念館運営審議会委員の任命について、白瀬南極記念館長お願いいたします。

(白瀬南極探検隊記念館長 説明)

【教育長】

審議会は運営委員から作りまして、結局審議会そのものは白瀬南極探検隊記念館の運営または計画について非常に大事な会ということで、運営委員会とは違う審議会となっています。そのためなるべく白瀬・南極に関して詳しい方を委員に入れまして、具体的に進めていこうということであります。会長でありました齊藤健二さんが体調不良ということで退会されましたので、それで佐々木勝利さんが上がってきております。佐々木さんは今説明があったように顕彰会の一員として白瀬南極に関わってきたので、適任だと捉えておりますが、それに対して皆さんどうですか。

(なしの声)

【教育長】

それでは異議が無いと認め、議案どおりに承認することにいたします。
次、議案第18号 にかほ市教育委員会表彰について、教育総務課長お願いいたします。

(教育総務課長 説明)

【教育長】

この「未来の科学の夢絵画展」は、受賞者公表が年度末になるため、そのためにどうしても遅れてしまいます。しかしできるだけ一人ひとりの子供たちの特性並びに特別性を認めながら表彰していきたいということで、遅くなりましたが表彰したいということでもあります。これについても異議が無いと思いますので、議案通りに承認することに決定いたします。

それでは議案第19号 令和4年度にかほ市学校教育の指針について、学校教育課長をお願いします。

(学校教育課長 説明)

【教育長】

「学校教育の目標」の副題「活かす力」が掲げられて何年か過ぎました。活かす力を伸ばすためには、学習意欲の向上に視点を絞って動くことが重要であり、来年度は学習意欲の向上に力を入れた教育を進めていきたい。それを進めるにあたって、やはり今の子供たちが一番意欲的に取り組むのはタブレット端末を活用した授業だと捉えております。そしてタブレット端末を活用する授業を実践するならば、モデル校や ICT マイスターを核にした研修を充実させ、先生方一人ひとりのタブレット活用能力を向上させ、子供たちに対応していきたいという課長の話でした。この「活かす力」の部分は、令和5年度には新たな副題を設けて進めていきたいということを計画しているところであります。これについて何か無いですか。

【佐々木委員】

コロナ禍で、隣県山形でも、タブレット等の利活用を通して授業を行った例もあるということだったので意外と進んでいるのだなと思っていました。ぜひ先生方の力を借りて良い1年にしていただけたらと思います。よろしくをお願いします。

【教育長】

ありがとうございます。ほかにございませんか。

【小松委員】

お母様方の話をさらっと聞いた中では、勉強が1番ではない日常生活が垣間見え、もう少し生活の中で子供たちの勉強の比率を上げていただくことを望んでいたのもいいことだと思います。よろしくをお願いします。

【教育長】

それではこれについても異議が無いと認めて議案どおりに承認することといたします。議案第20号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について、をお願いします。

(学校教育課長・学校教育課副主幹 説明)

【教育長】

それでは、議案第20号については、申請があった1件は条件付き認定とし、2件とも認定するというにしたいと思います。

それから本日は追加議案がありますので、議案第22号 令和3年度教育費3月補正予算について、教育総務課長から説明をお願いします。

(教育総務課長・教育次長 説明)

【教育長】

いろいろな目で問題視しなければならない部分もありますが、市としては過失を認めませんが市の施設管内で起きた事件に対してはそれなりの弁償をしていくという捉え方です。これについては本日の委員会で承認出来た場合も、次の議会でまた説明しなければならないという状態ですが、伊藤委員、元議員としての経験から、例えばこのような場合は選挙後の議会对応となりますが、いかがでしょうか。

【伊藤委員】

専決処分にする事案・事件かということです。過失を認めず支払うこと、まして、専決処分処理してから議会に報告するということは議員から「議会軽視」という言葉が出てくるかもしれません。ただ、議会改選なので、そこら辺は賛否かなというところがあります。しかし本来であればこれは専決処分ではないと思います。これは令和2年に起きた時点から、議会に何らかの報告はしましたか。

【教育次長】

決算の段階で委員会では報告しておりますが、議会に承認を求める内容は無いです。

【伊藤委員】

承認ではなく報告です。「事故があり、入院費は予備費で対応しました。」ということは報告しているのですよね。裁判といいますか、慰謝料を支払うことは報告してないのですよね。

【教育次長】

はい。

【伊藤委員】

このようなことは専決処分がいいのかと思うのですがどうなのでしょう。もし私が議員の立場だとすると、この処置は解せません。

【教育総務課長】

専決処分について、本来賠償責任に関しては当然議決案件になるのですが、市と議会とのことに専決処分の指定というのを議決しており、令和2年に一部改正しています。その中で読み上げますが、「法律上の市の義務に督する損害賠償（通常なら草刈りなどの件）について、一件の金額は100万円以下、または市が加入している賠償責任保険で補填される金額の範囲内の金額を定めること。並びにこれに伴う和解及び調停に関すること」こちらに該当するため、この規定によって専決処分をするということになります。いずれ、言われたとおり4月以降の市議会においては示談成立すれば専決処分の報告になりますが、さまざまな意見があるかとは思いますが。

【教育長】

これについては簡単に承認されないということは総務並びに私たちも考えていき、対応を具体的に示していかなければいけません。伊藤委員のご指摘を真摯に受け止めて対応していきませんか。他にご意見等ございませんでしょうか。

（なしの声）

【教育長】

それではこれについても異議が無いと認め、議案どおりに承認することに決定いたします。

それでは前後逆になりました、人事異動につきまして教育総務課長からお願いします。

（教育総務課長 説明）

【教育長】

これについては、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

【教育長】

転出される皆さん本当にありがとうございました。これについても異議が無いと認めて議案どおり承認することに決定いたします。

それでは日程の第9 報告については、管理職会議で現地確認しながら検討する事案がありますので、時間の都合上省略して配布のみとさせていただきます。よろしいでしょうか。

これで、全ての審議が終わりました。皆さんから何かありますか。

(なしの声)

【教育長】

無いようですので、次回の4月の教育委員会ですが、4月25日月曜日、午後1時30分から、新しいメンバーで行いたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは以上をもちまして第4回にかほ市教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

【閉会 午後2時13分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長 齋藤光正

” 委員 小松雅子

” 委員 佐藤道彦

教育の不易と流行？

にかほ市教育長 齋藤 光正

この頃、「教育の不易と流行」という言葉がよく使われております。今の学校に目を転じてみますと、教育改革の波が押し寄せ、時代や社会の要請に応じて、「教育の不易」以外に学校が背負う新たな「〇〇教育」と呼ばれるものが増加し、ICTと同じく、学校も多機能化してきていると感じております。

※「〇〇教育」～「英語教育」「グローバル教育」「道徳教育」「GIGAスクール構想教育」「持続可能な教育」など。

今こそ、子ども達の実態を的確に捉え、今、目の前にいる子ども達にどんな力をつけてやればいいのかを真剣に話し合い、そのための方策を考え、共通実践していくことが、本来の学校の役割だと思います。

そのためには、子どもの実態によっては「〇〇教育」に軽重をつけ、必要に応じて重点化を図る等、子どもの実態に応じた対応が必要になると思います。

元国立教育研究所の菱村幸彦氏は、各地の講演で、

「流行としての教育改革より、教育の不易の大切さを強く感じるものがよくある」

として、

学校教育の不易とは、

○一つは、目の前にいる子ども達に学力をしっかりとつけてやること
○もう一つは、目の前にいる子ども達をよい人間に育てること
の二つだと思っている。この二つのことをしっかりと実践するのが学校の役割であると考えている。

と述べておられます。私も同感であります。

そこで、各学校には、「〇〇〇〇学校づくり」という経営基本をもとに、

- ・研究方向や研究主題の継続、変更
- ・学年部、学級経営案、教科経営案の作成
- ・道徳、生徒指導面での充実
- ・コロナ対策の充実

など、いろいろな視点から工夫・改善をするように指示しているところです。

児童・生徒が生き生きと学び、生活し、そして、通いたくなる学校にするためには、教職員は、前例踏襲を繰り返し、固定観念にとらわれてしまってはいけません。

確かに、原点から新しく作り出すことは、時間を要し苦しいことでもあります。みんなが「心をつなぐ」にして挑戦してほしいと思います。

今一度、十分に時間をかけ、しっかりと土台を作ってくれるようお願いしております。

教育総務課

○令和3年度奨学金返還助成制度における認定および交付状況

【認定状況】

- ・対象 …… 令和3年4月～令和4年2月までに申請された方
- ・申請者 …… 8人（認定者8人）

認定者の詳細

No.	就労先	貸与総額	返還年額	市助成期間	市助成額	県助成期間	県助成額	奨学金種類
1	市外企業	2,400,000	163,476	5	163,000	-	対象外	国
2	市内企業	2,400,000	199,920	5	66,000	2	133,000	県
3	市外金融機関	4,800,000	246,828	5	71,000	3	133,000	国
4	市	1,800,000	139,128	3	139,000	-	対象外	国
5	市外金融機関	2,400,000	200,800	5	67,000	3	133,000	県
6	市内企業	720,000	84,000	3	28,000	2	56,000	市
7	市外企業	1,200,000	99,996	3	33,000	2	66,000	国
8	市内保育施設	4,800,000	268,476	5	71,000	3	133,000	国

【交付状況】

- ・対象 …… 平成30年度以降に認定され、1年以上の返還実績のある方
- ・交付決定者 …… 43人

交付決定者の詳細

No.	就労先	貸与総額	返還年額	市助成額	県助成額	奨学金種類
1	市外企業	3,072,000	170,664	57,000	113,000	国
2	市外保育施設	1,200,000	144,000	144,000	0	市
3	市内介護施設	960,000	168,000	168,000	0	市
4	市内介護施設	1,440,000	168,000	168,000	0	市
5	市内企業	3,840,000	195,240	65,000	130,000	国
6	市外介護施設	2,400,000	199,920	199,000	対象外	県
7	市内企業	2,400,000	204,000	4,000	200,000	市
8	市外企業	5,760,000	296,244	71,000	133,000	国
9	市内企業	4,800,000	246,876	71,000	133,000	国
10	市外介護施設	960,000	160,800	53,000	107,000	市
11	市外企業	720,000	84,000	28,000	56,000	市
12	市外医療機関	3,072,000	170,664	57,000	113,000	国

No.	就労先	貸与総額	返還年額	市助成額	県助成額	奨学金種類
13	市外企業	720,000	84,000	28,000	56,000	市
14	市内保育施設	1,200,000	199,920	66,000	133,000	市
15	市外保育施設	1,710,000	97,452	97,000	対象外	国
16	市外企業	2,400,000	174,252	174,000	対象外	国
17	市内企業	4,800,000	243,924	71,000	133,000	国
18	市外医療機関	2,400,000	160,116	54,000	106,000	国
19	市外福祉施設	1,200,000	100,058	34,000	66,000	国
20	市外企業	2,400,000	300,000	71,000	133,000	市
21	市外企業	2,400,000	164,532	55,000	109,000	国
22	市内介護施設	2,400,000	174,216	58,000	116,000	国
23	市内医療機関	1,440,000	360,000	71,000	133,000	市
24	市内企業	2,400,000	204,000	4,000	200,000	国
25	市内金融機関	3,072,000	170,664	57,000	113,000	国
26	市内介護施設	4,320,000	216,216	71,000	133,000	国
27	市外企業	2,700,000	201,036	201,000	対象外	国
28	市外企業	2,448,000	163,200	55,000	108,000	国
29	市内企業	720,000	42,000	14,000	28,000	市
30	市内企業	720,000	84,000	28,000	56,000	市
31	市外企業	2,400,000	121,764	40,000	81,000	国
32	市外金融機関	2,400,000	204,000	71,000	133,000	市
33	市外企業	2,400,000	242,199	4,000	200,000	市
34	市外医療機関	1,200,000	52,226	18,000	34,000	国
35	市内企業	4,800,000	241,752	71,000	133,000	国
36	市外企業	2,400,000	204,000	4,000	200,000	国
37	市外保育施設	2,400,000	161,796	54,000	107,000	国
38	市外企業	4,800,000	241,752	71,000	133,000	国
39	市外企業	720,000	84,000	84,000	0	市
40	市内企業	2,880,000	194,832	65,000	129,000	国
41	市内企業	2,400,000	200,800	67,000	133,000	国
42	市内金融機関	2,400,000	160,020	54,000	106,000	国
43	市外企業	2,400,000	163,476	163,000	対象外	国

計 3,060,000

学校教育課

1. 事業報告

2月25日(金)	教育研究所運営委員会 臨時教育委員会(教職員人事について)
3月8日(火)	県立高校一般選抜試験
3月12日(土)	中学校卒業式
3月15日(火)	小学校卒業式
3月16日(水)	県立高校一般選抜合格発表
3月18日(金)	修了式
3月20日(日)	教職員ワクチン追加接種

2. 事業計画

4月5日(火)	にかほ市校長会
4月6日(水)	1学期始業式 にかほ市教頭会
4月7日(木)	中学校入学式(10:00~)
4月8日(金)	小学校入学式(10:00~)
4月12日(火)	にかほ市校長会
4月19日(火)	全国学力・学習状況調査
4月20日(水)	全国学力・学習状況調査協同採点
4月23日(土)	中学校春季大会(～24日)
4月26日(火)	教育研究所運営委員会

生涯学習課・金浦公民館

1. 事業報告

- 2月24日(木) 金浦福寿大学 2月授業「心の健康づくり出前講座」
2月25日(金) まんまある「産後ケアの運動&風邪予防」
2月26日(土) 浜っ子クラブ「谷さんのおはなし会」&おわりの会
3月10日(木) ほんわっカフェ

※新型コロナウイルス感染症拡大の為に中止

- 3月17日(木) 金浦福寿大学 令和3年度終了式
「佐藤倉太郎ミニコンサート」 31名参加

2. 事業計画

- 4月10日(木) ほんわっカフェ
4月28日(木) 金浦福寿大学 開講式&第1回授業

図書館・仁賀保勤労青少年ホーム

1. 事業報告

【図書館】

テーマ展示

仁賀保分館「原作を読む」

象潟分館「春が待ち遠しい 緑の本棚 本の色で春を感じてみる!？」

こびあ 「うららかな春 本とともに軽やかに前へ」

3月 1日(火) 図書館だより発行 全戸配布

3月12日(土) おはなし会 読み聞かせボランティアいぶき

※新型コロナウイルス感染症拡大の為中止

【仁賀保ホーム】

3月 3日(木) トレーニング室新規利用者講習会 15名参加

3月13日(日) ツキイチコンサート(オカリナコンサート) 50名観覧

2. 事業計画

【図書館】

3月24日(木) にかほ市図書館協議会

3月25日(金)～4月8日(金)

展示コーナー(こびあ)

世界自閉症啓発デー「本でつながろう!理解のWA」

4月 9日(土) おはなし会 読み聞かせボランティアいぶき

4月23日(土) 令和4年度「どくしょポイントカード」スタート

小学生対象:子ども読書の日 4月23日～3月末まで

【仁賀保ホーム】

4月 7日(木) トレーニング室新規利用者講習会

仁賀保公民館

1. 事業報告

- 2月21日(月) 高齢者学級むらすぎ学園 運営委員会
参加者 8人
- 25日(金) パソコン講座・活用編⑧
「パソコン・スマホのセキュリティ」
参加者 11人
- 28日(月) 働くときに！日常生活に！役立つパソコン講座
参加者 8人
- 3月16日(水) 高齢者学級むらすぎ学園「修了式」
参加者 44人

【 コロナウィルス感染対策により中止した事業 】

- 2月25日(金) キッズ・まもーる「平沢小学校」
26日(土) キッズユートリック「お別れお楽しみ会」
3月 1日・8日・15日・22日(火)
子ども太鼓体験教室③～⑥

2. 事業計画

- 4月20日(水) 高齢者学級むらすぎ学園「開講式」
28日(木) にかほ市女性団体協議会総会

象潟公民館

1 事業報告

- ・ 2月26日(土) 友遊くらぶ 谷さんのお話し会 (3公民館合同事業)
コロナ禍のため中止
- ・ 3月 3日(木) 白寿大学 修了式
コロナ禍のため中止
- ・ 3月 4日(金) 免疫力アップ運動 12人

2 事業計画

- ・ 4月26日(火) 白寿大学開講式

フェライト子ども科学館

1. 事業報告

○入館者数の実績

	R3	R1	R1同期 比%	説明
4～2月計	9,195	40,094	▲77.1%	休館：令和2年2/29～ 8/2(新型コロナ対策、エン トランス修繕工事)
うち2月	145	2,209	▲93.4%	休館：令和4年1/27～ 3/21(新型コロナ対策)

○新型コロナウイルス対策について（3月22日～）

- ・ 休館：月（祝日の場合は翌日）
- ・ 館内の人数制限：状況により制限
- ・ 滞在時間：①9:00～11:45 ②13:00～16:30
- ・ 入館料：通常料金
- ・ 入館者への要請：記録票記入、マスク着用、検温の協力、手指消毒等
- ・ 実験工作教室等：少人数で実施

○3月19日（土）、20日（日）米村でんじろうプロダクション「実験教室」
※ZOOMによるオンライン教室

○3月22日（火）～4月5日（火）
春の特別企画展「潜水調査船がみた深海生物」

2. その他

○ワクチン接種による休館：4月3日（日）、10日（日）、17日（日）、
24日（日）、29日（金※祝日）
5月1日（日）、3日～5日（※祝日）、8日（日）、
15日（日）、22日（日）、29日（日）

令和4年第4回教育委員会【報告資料】

白瀬南極探検隊記念館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績

	R3年度	R元年度	増減(▲)	説明
4月～R4.2月	6,615人	11,508人	▲42.5%	
うち2月	0人	468人	-	1/27～臨時休館
3月の状況	3月22日(火)から再開 春休み期間中は休館日なしで開館			

(2) わらび座ミュージカル「だってあなたの娘ですから」

期間：令和3年11月27日(土)～4年3月21日(月)

公演回数：55回

総観客数：3,160人

(3) 読売旅行「南極オンラインセミナー」

日時：2月26日(土) 15:00～16:00

内容：南極旅行に関心のある登録者を対象に、南極の歴史・白瀬南極探検隊をテーマにプレゼン、記念館PR、参加者との交流を実施。

参加者数：50人

(4) 企画展「大和雪原を越えて～冒険家 阿部雅龍『白瀬ルート』挑戦の記録 2021-2022」

期間：3月22日(火)～開催中

内容：阿部雅龍氏「白瀬ルート」挑戦の記録を写真、映像のほか、冒険で着用したウエア等各種グッズの展示により紹介。白瀬隊による大和雪原到達110周年記念事業。

2. 事業計画

(1) 白瀬書院お茶会

期日：4月下旬(GW前半)

⇒コロナの状況により秋季に延期で検討・調整中

文化財保護課・象潟郷土資料館

1. 事業報告

○入館者数の実績

	R3	R元	比較	増減率	説明
4～2月 計	1,768人	3,014人	△1,246	△41.3	検温、マスク着用、手指消毒、入館記録、入館者数制限なし
うち2月	-人	120人	△120	-	1/27～3/21 まで臨時休館

- 2月24日(木) 第1回やさしい古文書講座「古文書で読む秋田のくらし」 受講者35人
講師/秋田県公文書館 一関 修二 氏
- 3月 3日(木) 第2回やさしい古文書講座「出船手形と疫病神の詫び証文」 受講者33人
講師/秋田県立博物館 新堀 道夫 氏
- 3月 5日(土) 第3回やさしい古文書講座「松栄丸の漂流記」 受講者32人
講師/秋田県立博物館 新堀 道夫 氏
- 3月17日(木) 仁賀保高校伝承芸能実演体験会(中止)
- 3月22日(火) 象潟郷土資料館運営協議会
にかほ市文化財保護審議会

2. 事業計画

- 4月28日(木) 池田修三木版画展&コンサート「春のメロディー」
～5月1日(日) 象潟公会堂、 10:00～16:00
- 28日 市内コーラスグループ
- 29日 ケースケライブ
- 30日 木版画手摺り処店主の実演&トーク
- 1日 青谷明日香ライブ

Beyond the Yamato-snowfield 大和雪原を越えて

冒険家 阿部雅龍「白瀬ルート」挑戦の記録 2021-2022

白瀬南極探検隊以来1世紀にわたる人跡未踏の地「大和雪原（やまとゆきはら）」を
起点に、単独徒歩による南極点到達を目指すプロ冒険家 阿部雅龍
「白瀬ルート」に挑んだ54日・780kmの記録を写真と映像、冒険グッズとともに
ご紹介します

大和雪原到達110周年記念

白瀬南極探検隊記念館企画展

期間●令和4年3月22日(火)～7月18日(月)

会場●白瀬南極探検隊記念館展示室

秋田県にかほ市黒川字岩瀧15-3 TEL 0184-38-3765

